

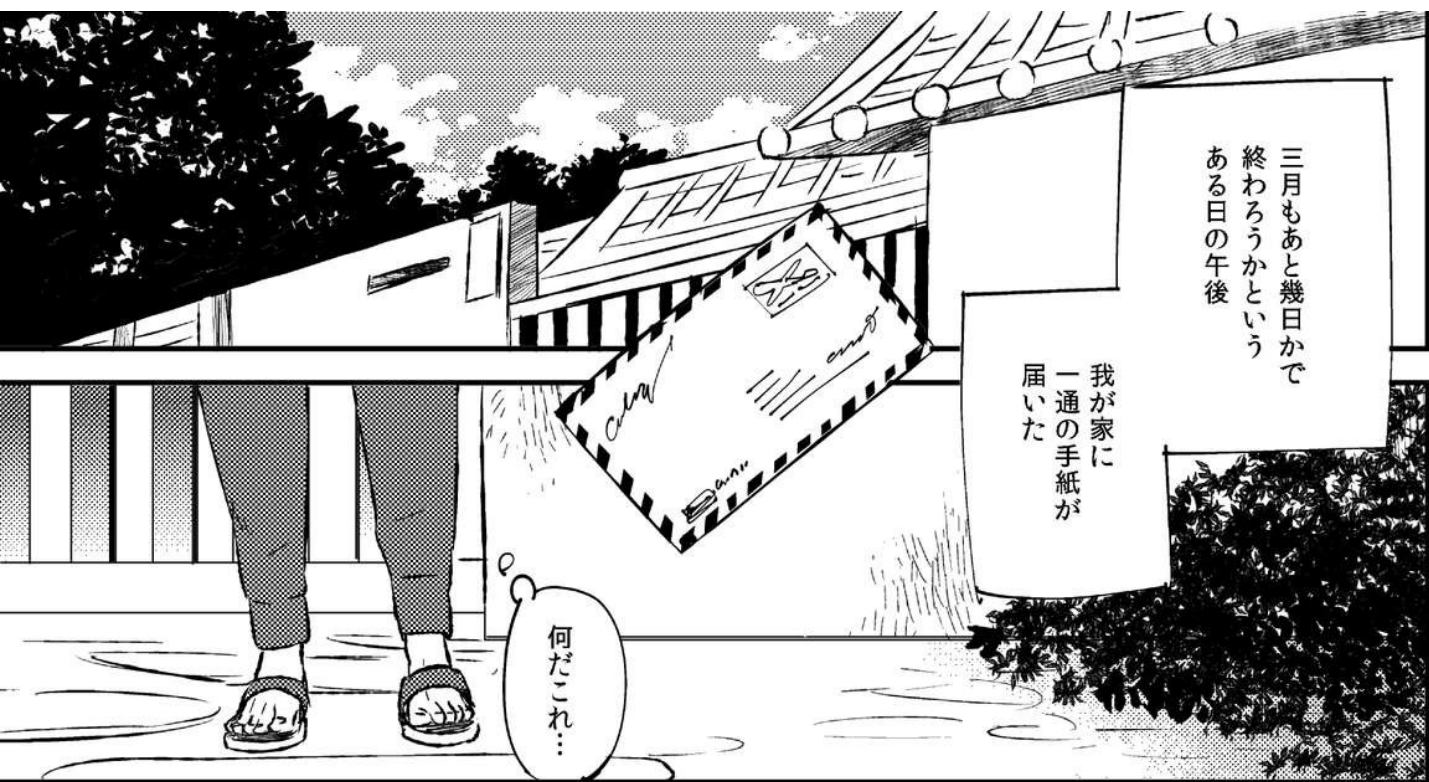
FOR ADULT ONLY

13

冬来たりなば春遠からじ

If winter comes, can spring be far behind.





三月もあと幾日かで
終わろうかという
ある日の午後

我が家に
一通の手紙が
届いた

何だこれ…



なんだよ
リー!

コラ



エアメール…
差出人の
名前はなし…



怪文書か
はたまた
脅迫状か…

だが何一つ
慌てることは
ない

俺の知る限り
こんなことを
する人物は

たった一人しか
いないのだから

…

海外出張中の
俺の相棒(?)

木庭 國春
通称..春

四月に戻るね

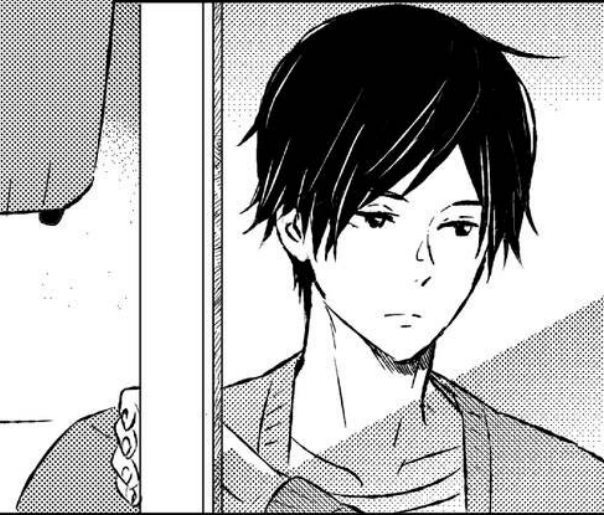
そう言ってる
あいつが日本を
発つてから
三月と二十六日

一人で過ごす
毎日にも
すっかり慣れた

例えば
一人分の洗濯

一人分の掃除
一人分の飯...

カラカラ...



そうだよなー
お前が
いるから

犬好き

正しくは
二人と二匹
だよなー
うんうん!

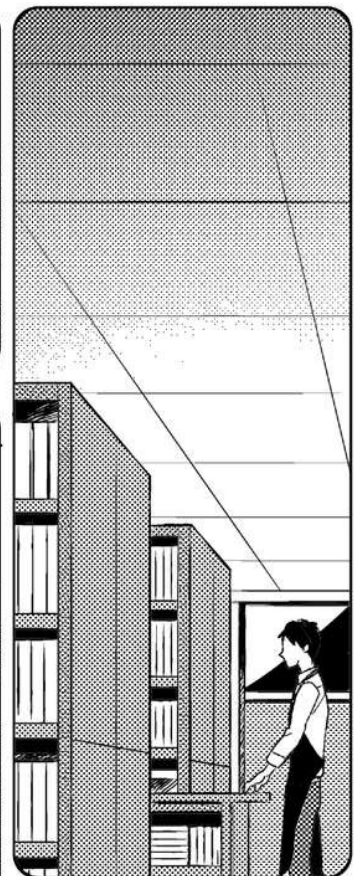
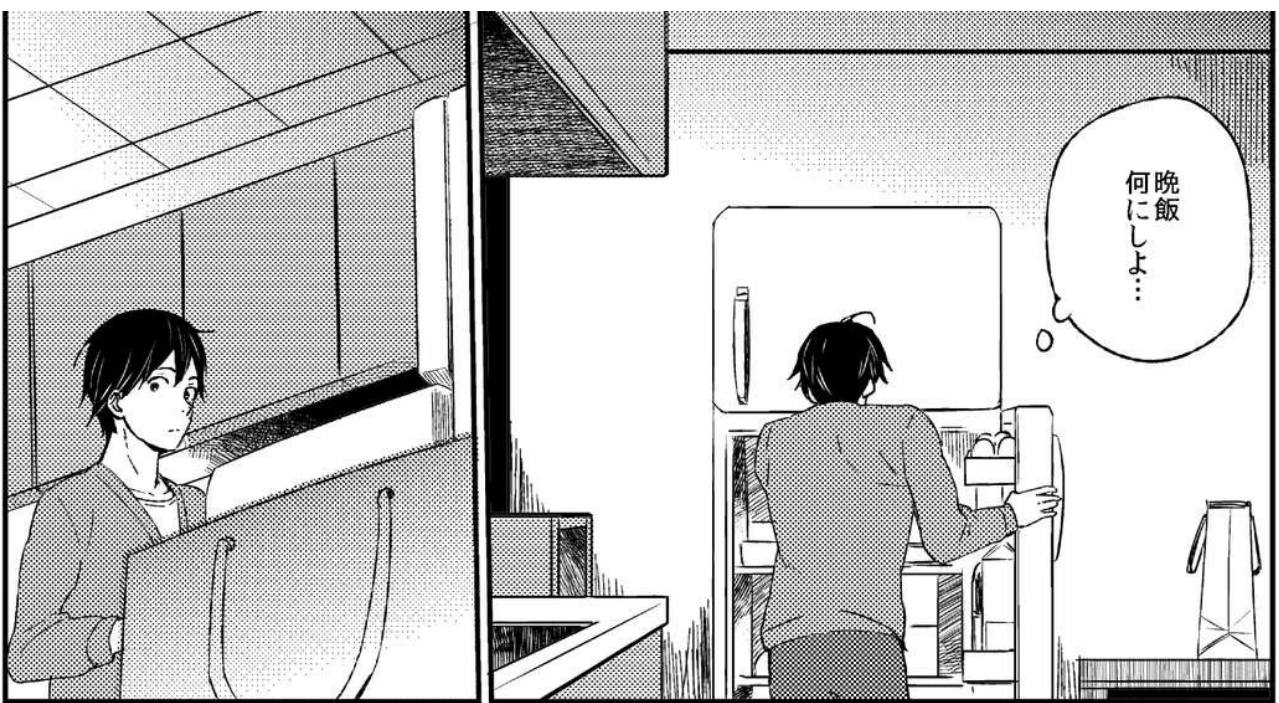
おつと
ごめん

こいつは愛犬の
ゴールドンリー
(オス5歳)

せつかく
一人気ままに
快適ライフ
送ってんだから

思い出させるな
つての.....!



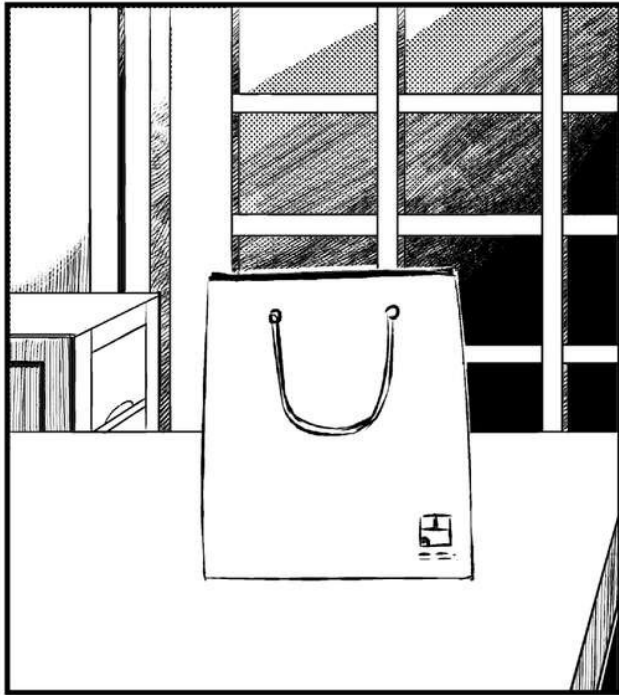


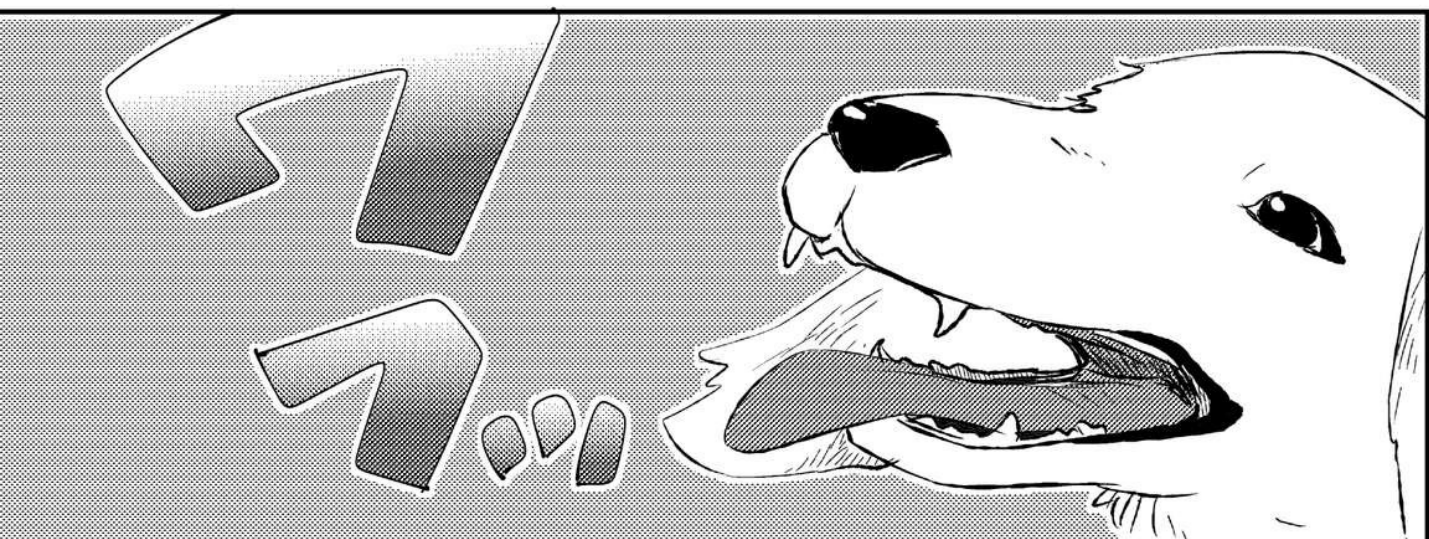
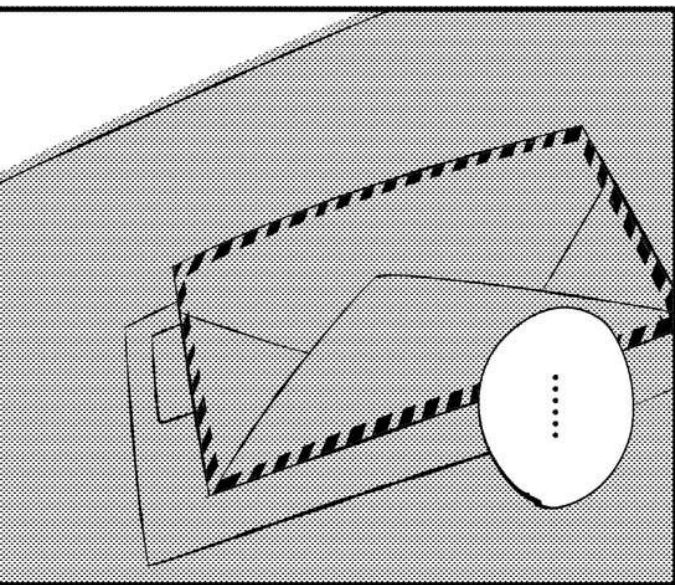




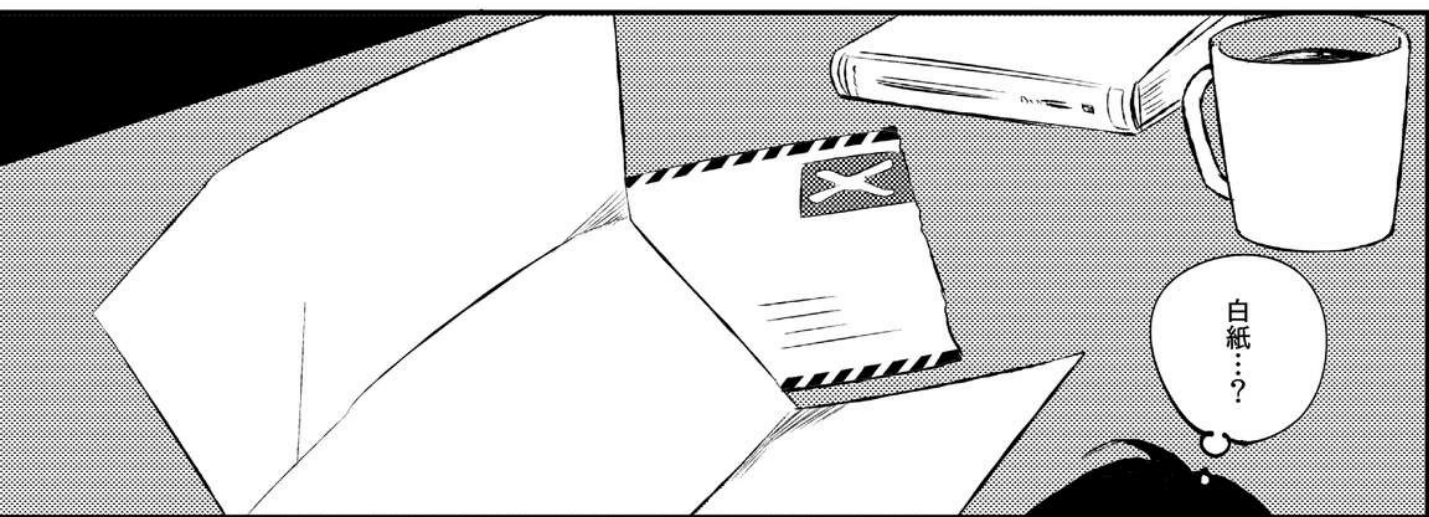
あの本が
とても
良かったから
その
お礼にね

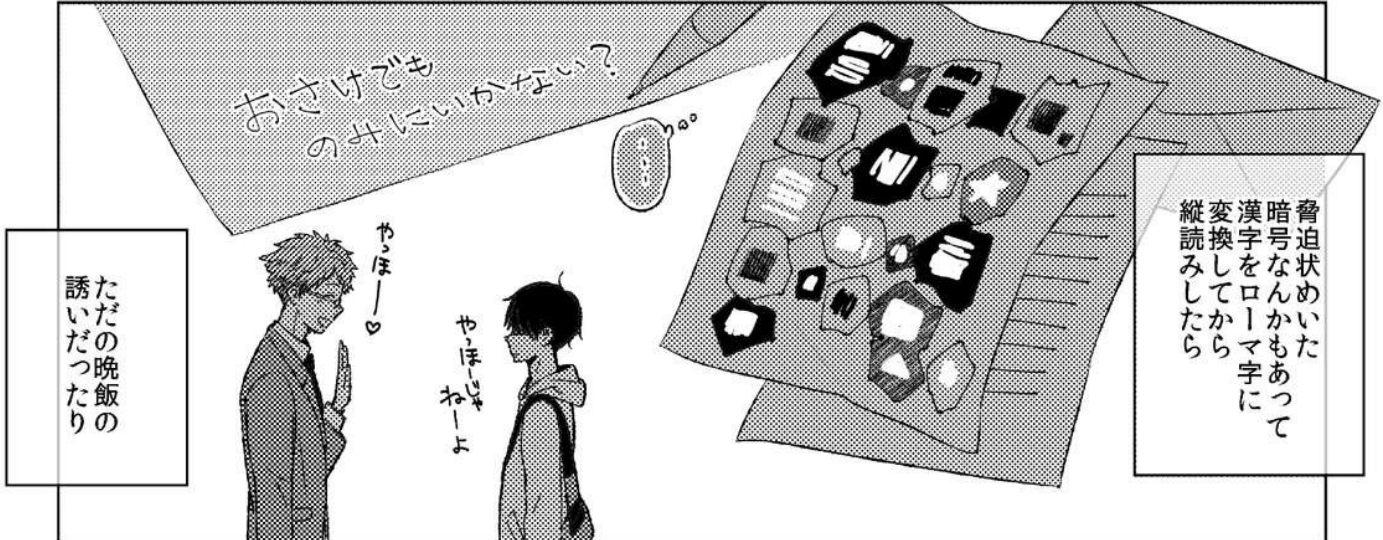


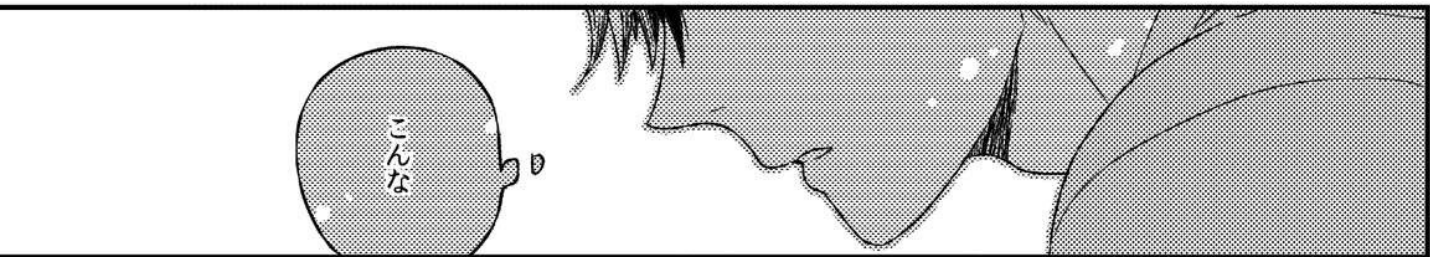


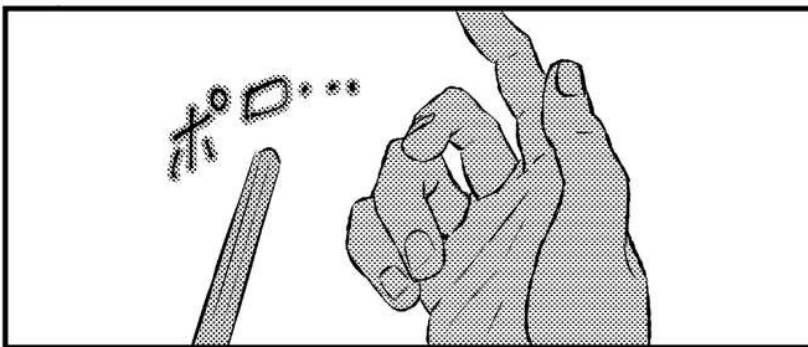
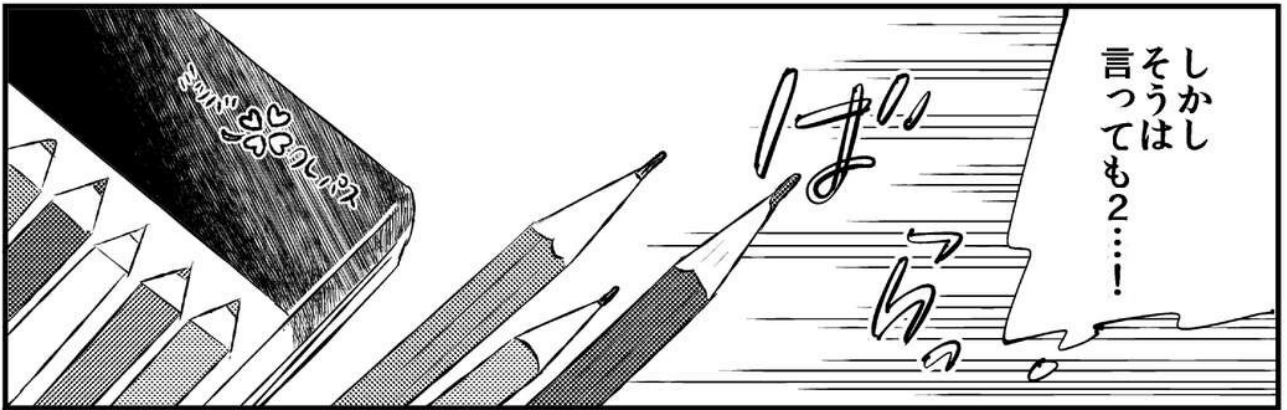












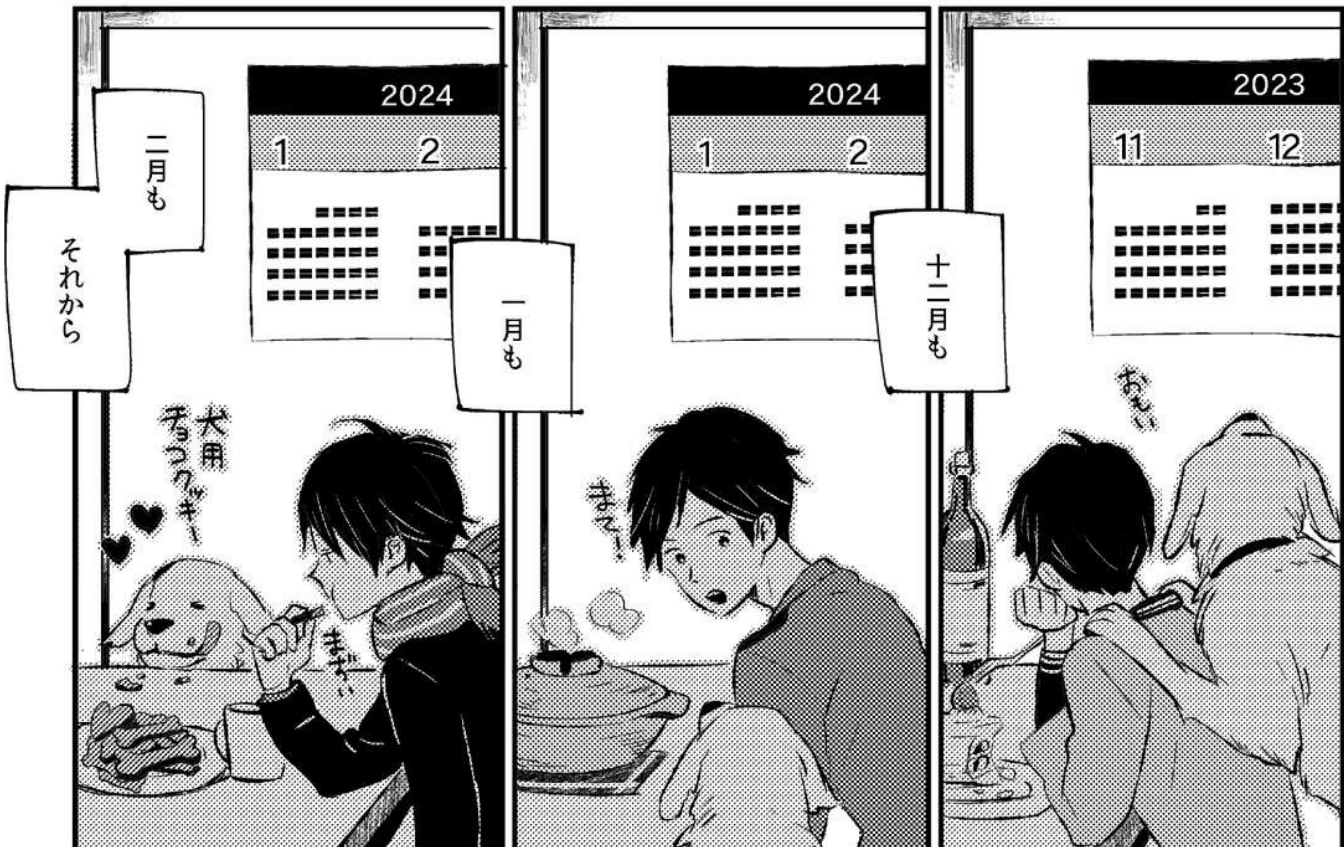


可視化された
日々

一人の間に
読み終えた
本の数



お前の
いなかった
時間



二月も
それから

2024
1 2

一月も

2024
1 2

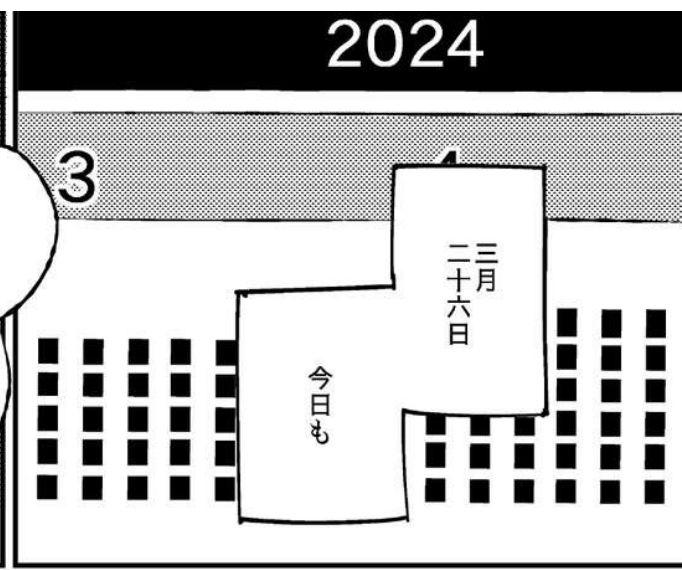
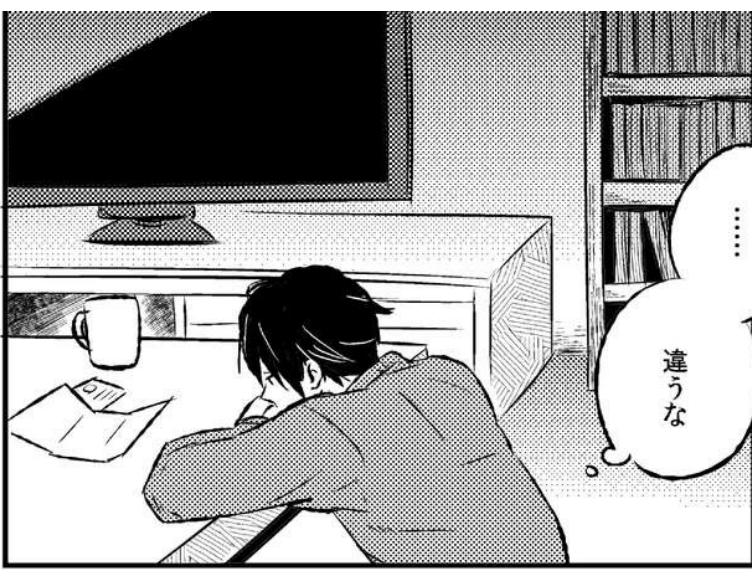
十二月も

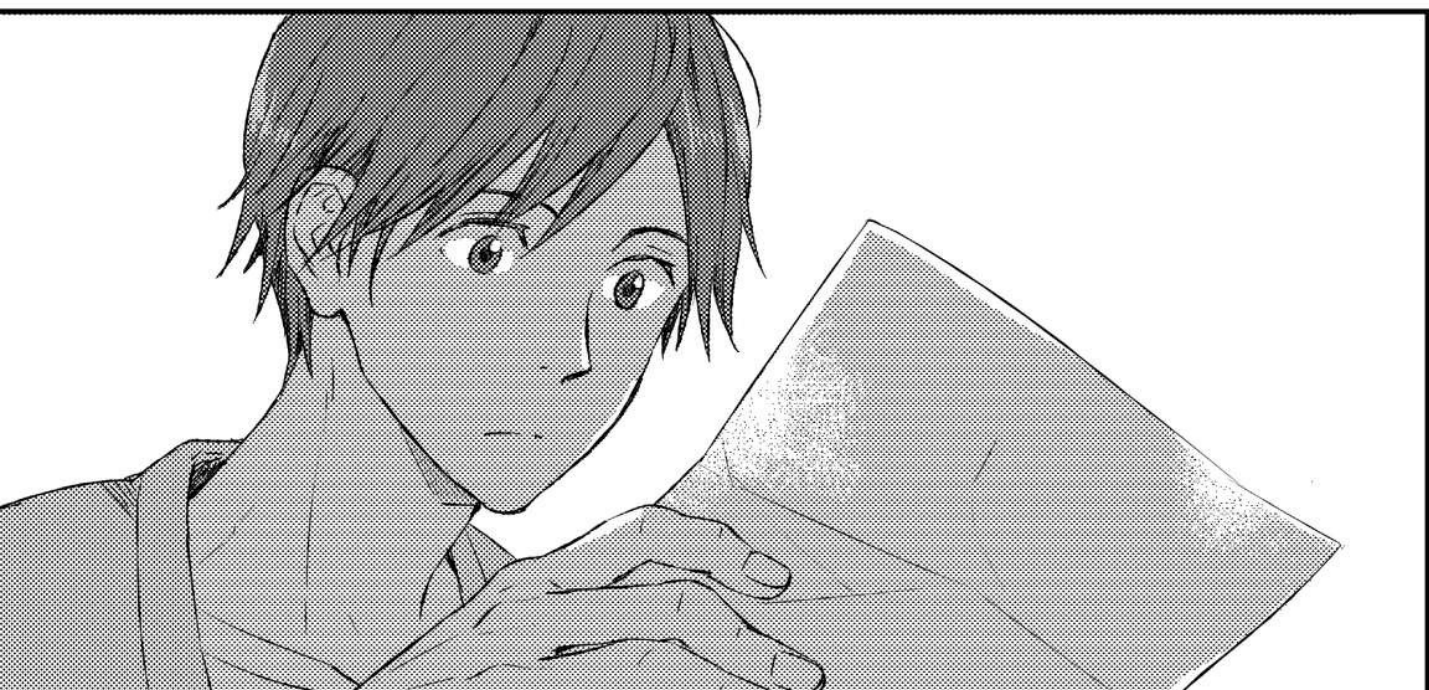
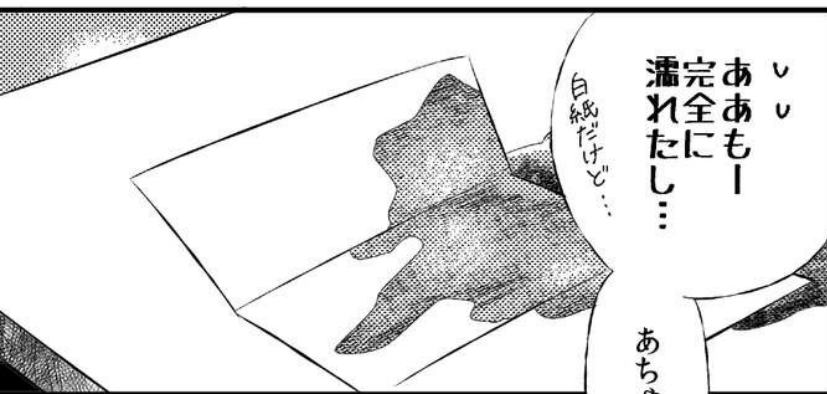
2023
11 12

犬用
おやつ
まー

まー

まー









「明日」って
言ってたって

—それが

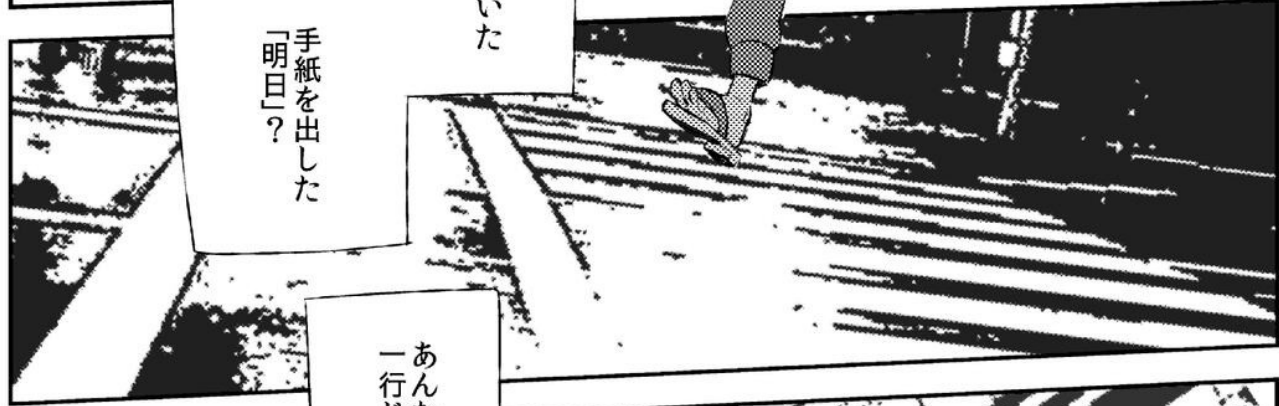
いつの
「明日」なのか

手紙が届いた
「明日」?

手紙を出した
「明日」?

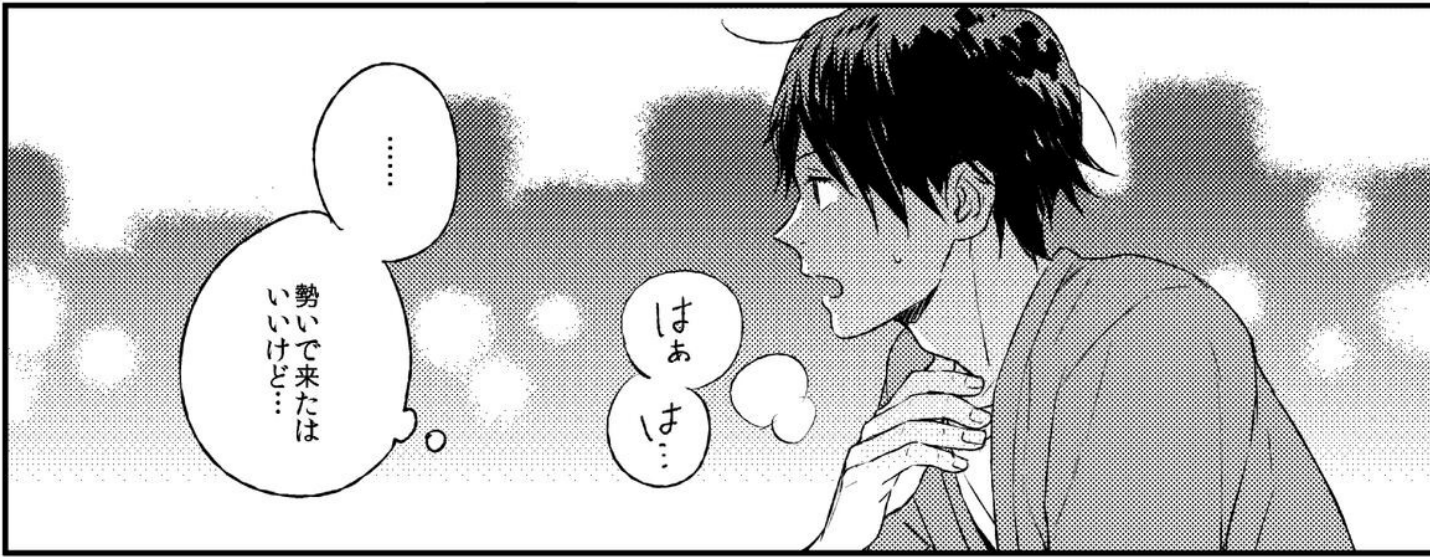
—あんな
—行きじゃ

わかんねーよ
ちくしょう



はあ

はあ





浅陽





走るの...っ
速すぎ...っなんだ
けど...っ

はー

おっ

家の手前で
すれ違ったの
気がつかなかった?

すごいスピードで
走って行くから
追いかけて
来ちゃったじゃん

ちよっど...っ

はー

はー

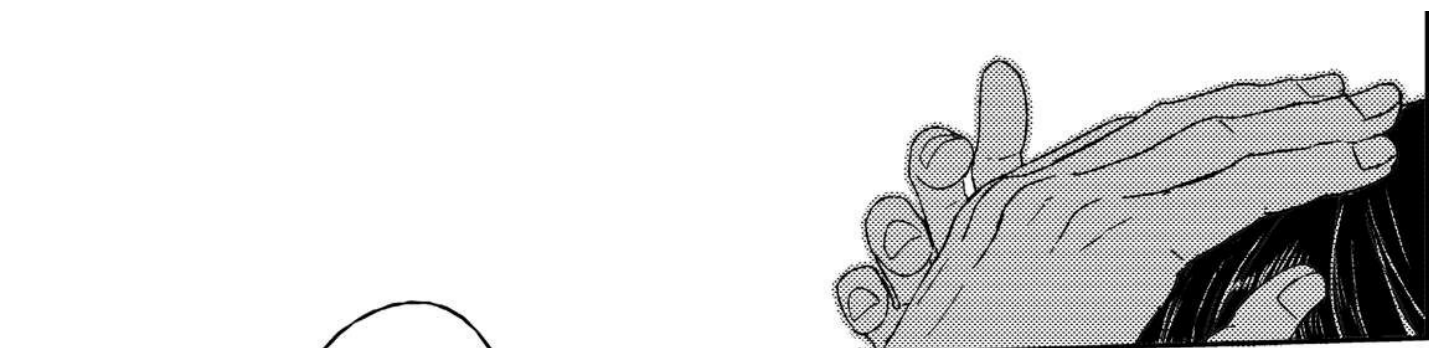
4ヶ月の
長期出張帰りに
家まで二往復とか

もう!
荷物持ってよね!

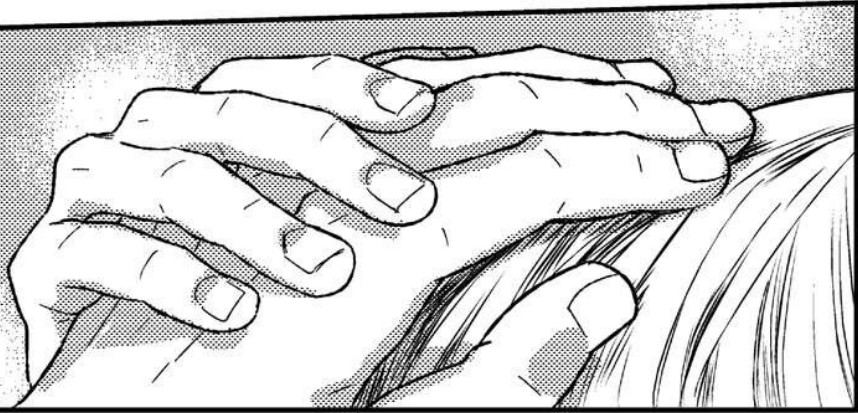








うん



えり…

お、おか



うんじゃ
なくて

浅陽も
ちゃんと
言ってる



……

あ

あ



か

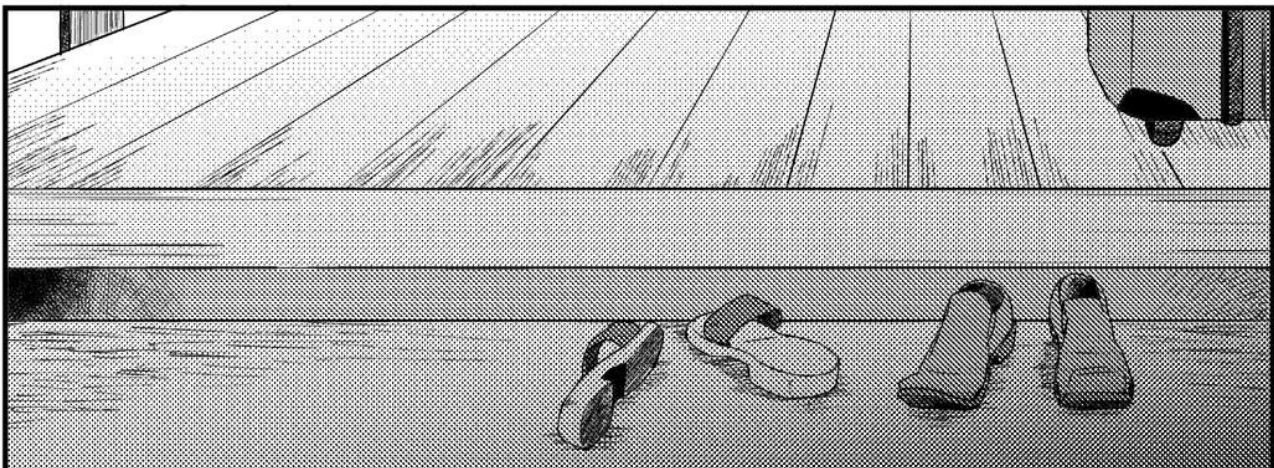
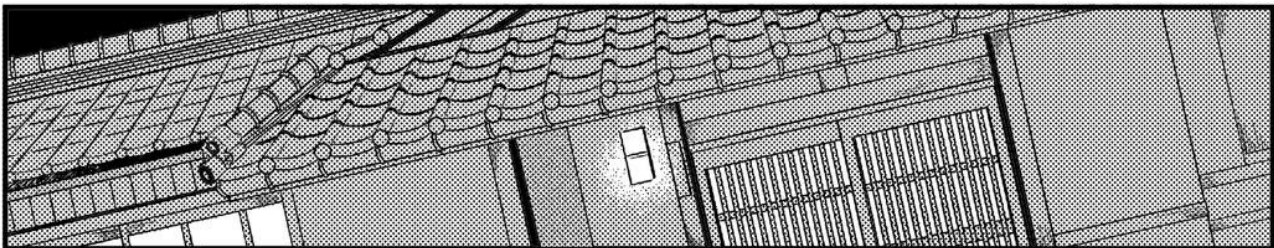
貸せよ
ほら
帰るぞ



あれ？

本当に持って
くれるんだ？
優しい〜

…まあ
一応な





…うう

…う

…う
はあ

…う

浅陽？



は

は

ねえ

は



…

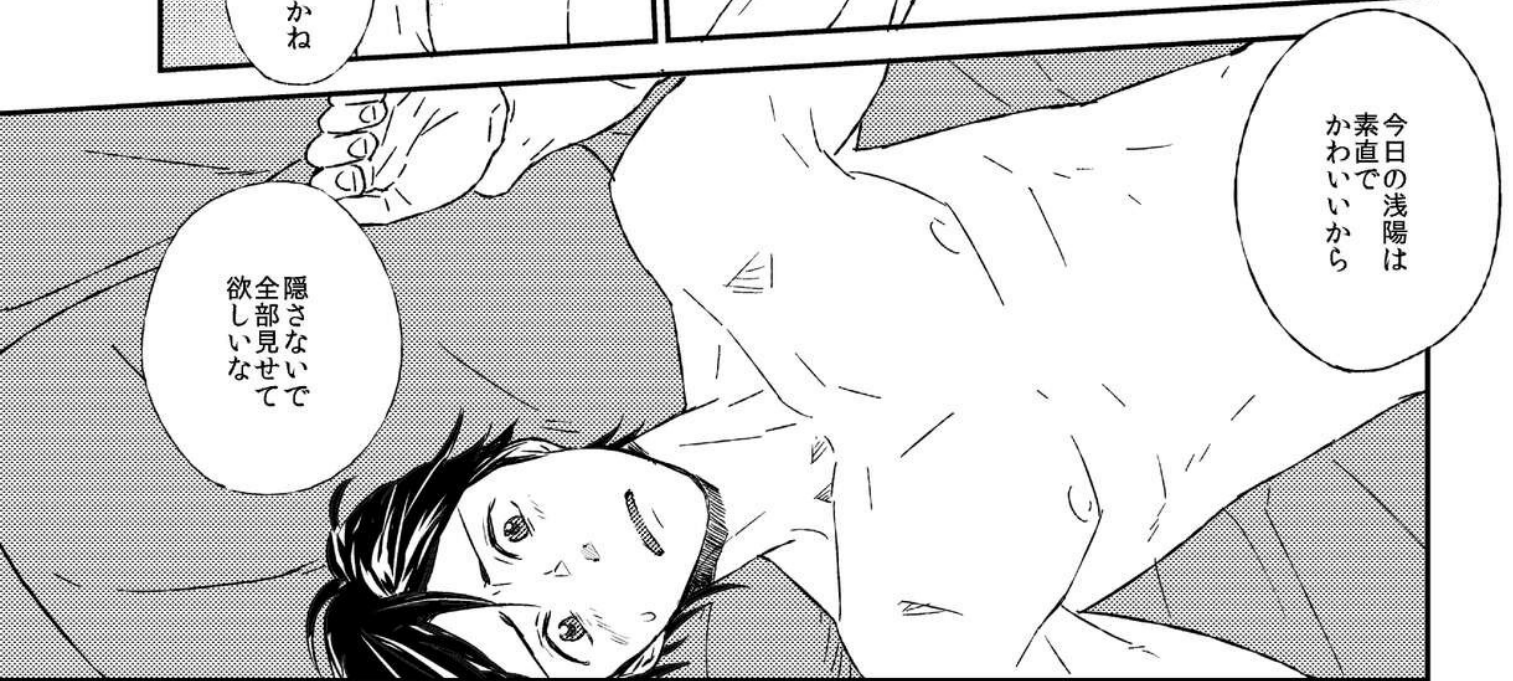
なんだよ…

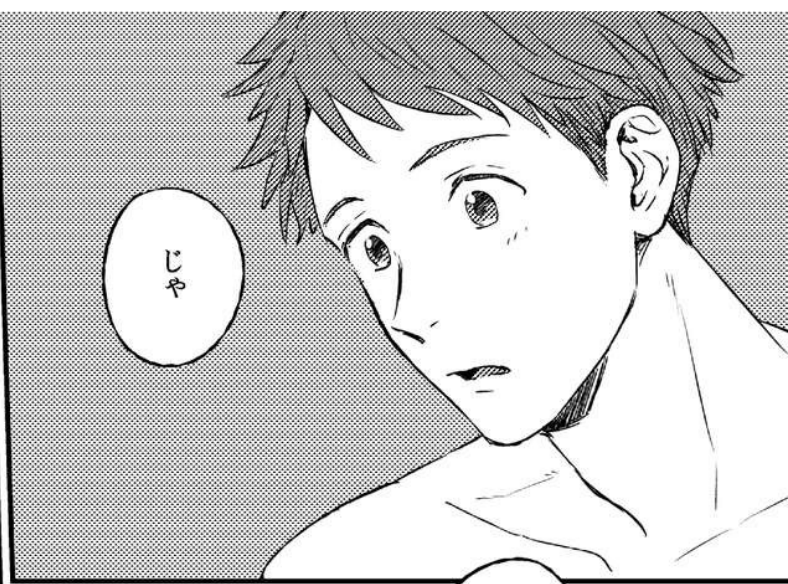


何かあったか？

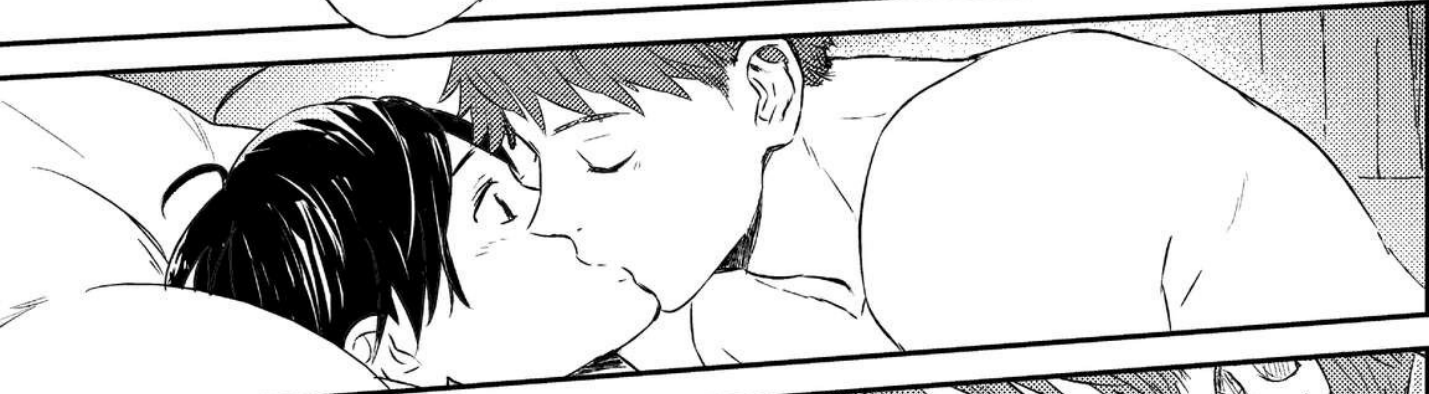
何で顔隠すの







浅陽





「好き」って何回聞いてもいいものじゃない？」

素直に喜んでよ



はま

は

だから

さっき聞いた

は



素直に

で
いいの

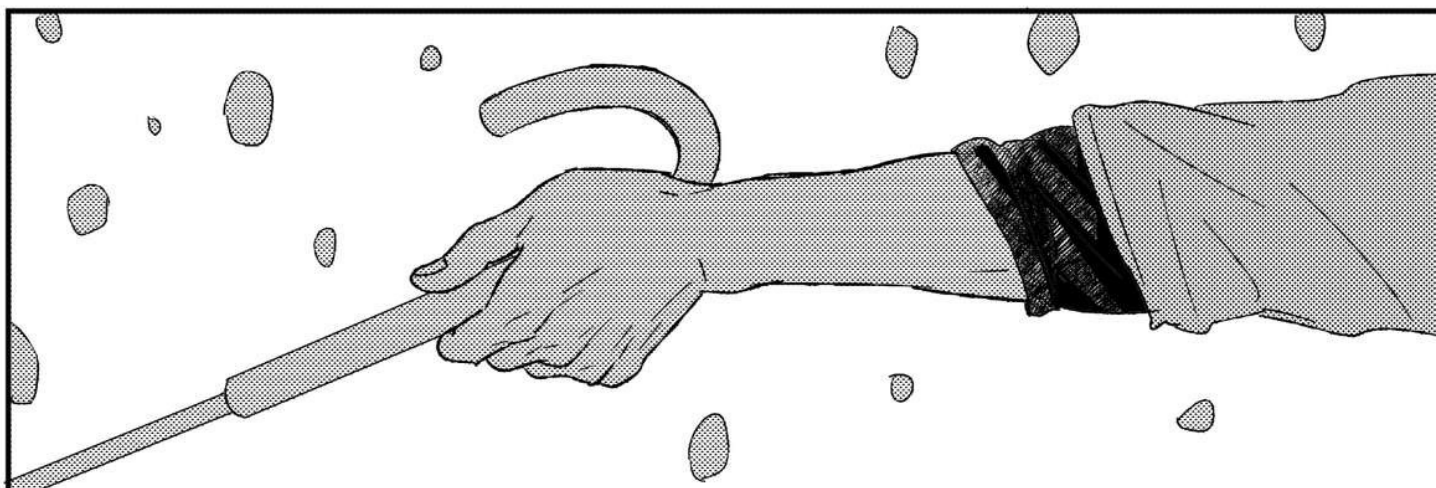


自分の形が歪むのが怖い

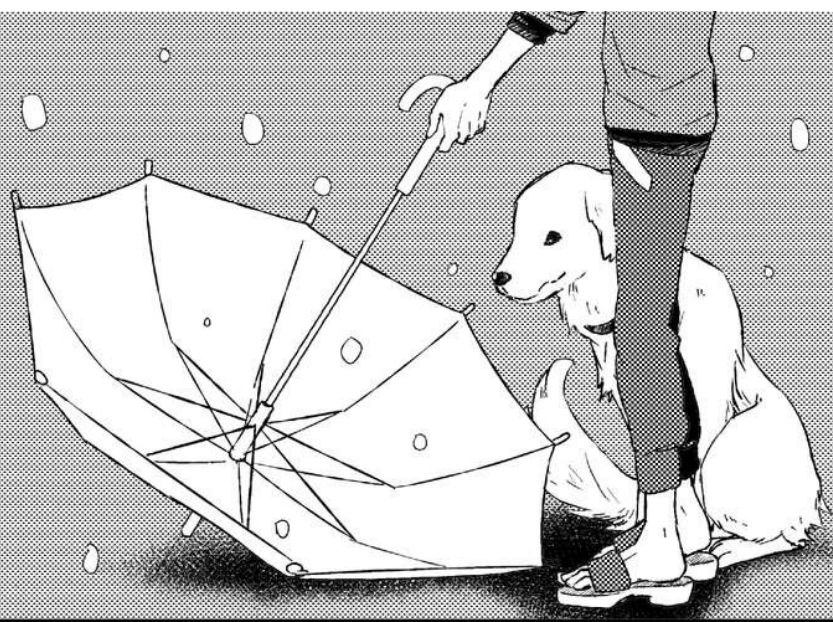
降り注ぐ言葉や気持ちの重みに



そっかあ



新しい形の
自分になる
だけなんだって

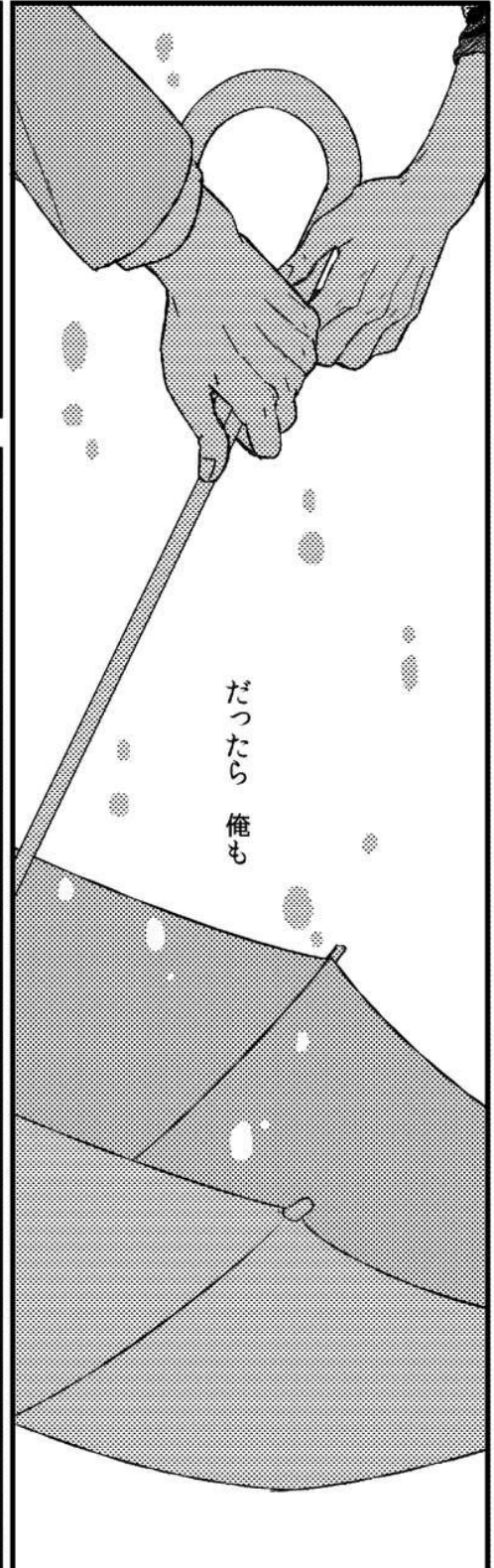


真つ直ぐな
お前の様に
ありたいと

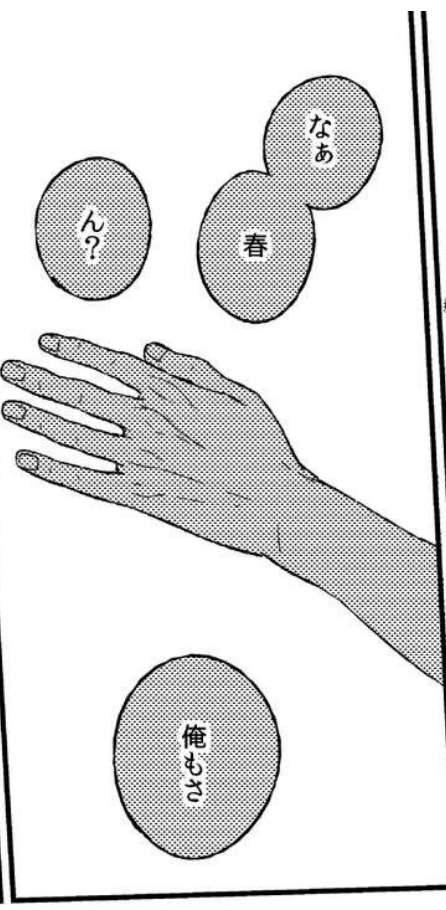


素直に
そう
思えるんだ

だったら
俺も







心なしか

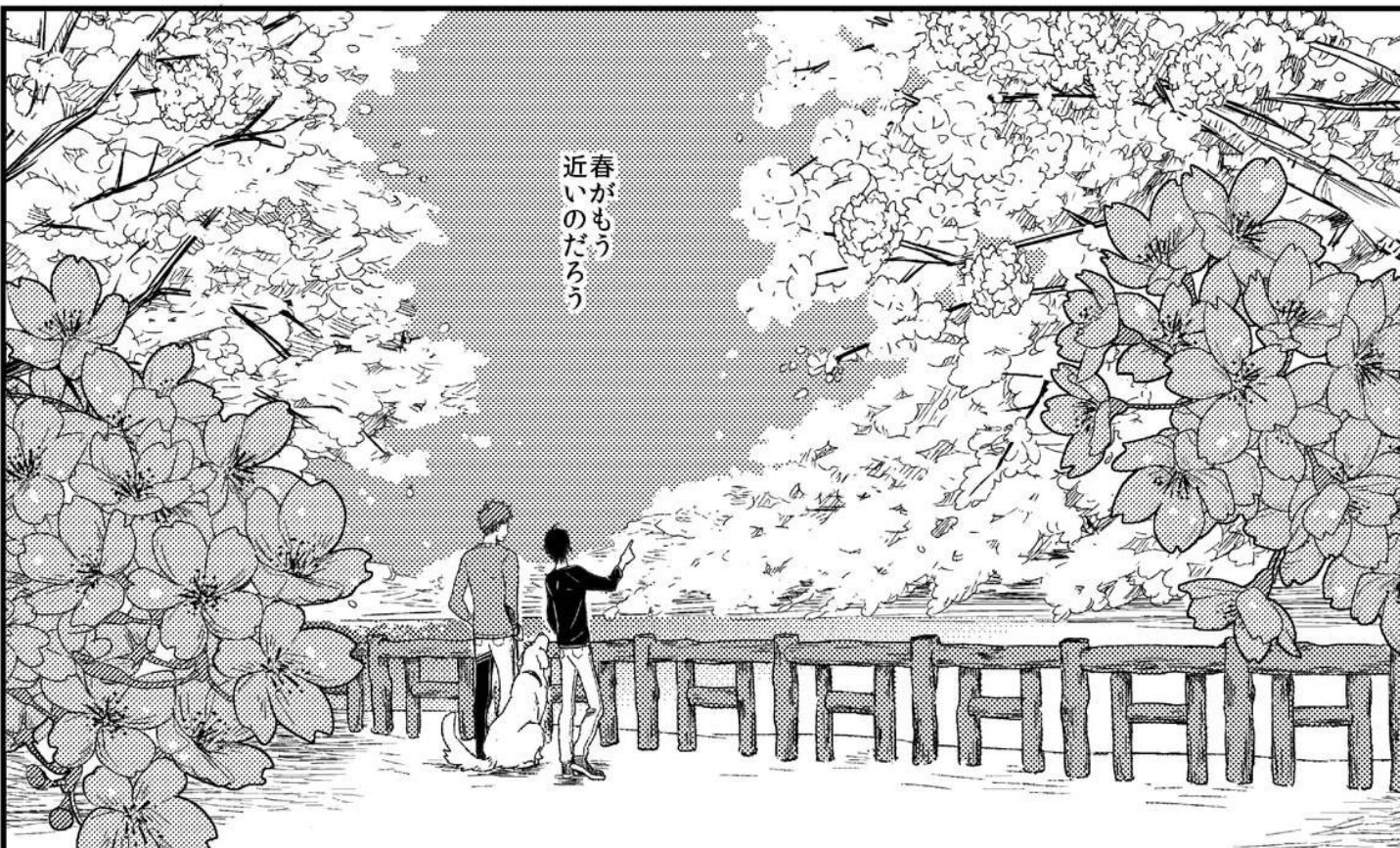


肌に触れる
空気が
優しく暖かい

春が



春がもう
近いのだから



ありがとうございました！

